

平成 23 年度第 3 回石神井公園ふるさと文化館運営懇談会会議の概要

日時	平成 24 年 3 月 14 日（水） 10：00～12：00
場所	石神井公園ふるさと文化館 多目的会議室
出席者	委員 13 名
議事等	1 教育長挨拶 2 議事 （1）平成 23 年度事業について（平成 24 年 2 月 29 日現在） （2）平成 24 年度特別展等について （3）その他
傍聴者	なし
配布資料	1. 平成 23 年度事業について（平成 24 年 2 月 29 日現在） 2. 平成 24 年度特別展・収蔵品企画展 開催要項案について 3. 平成 24 年度予算の概要について

会議の概要

事務局 皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本日 4 名の委員より欠席の連絡をいただいております。本日傍聴はございません。

また、本日は教育委員会が所轄する会としては最終となります。河口教育長、中村部長も出席させていただいております。

1 教育長挨拶

教育長 おはようございます。教育長の河口でございます。一昨年 3 月 28 日にふるさと文化館がオープンし、2 年が経とうとしております。私もこの開館式典にも参りまして、つい昨日のように思い出しております。多くの皆様方にご利用いただき、「江戸の妖怪」展などは私も観覧しましたが、東京都内のみならず近県からも多くのお客様においでいただきました。このように発展いたしましたのも、地域の皆様、そして今日おいでいただいております懇談会の委員の皆様からのお力添えがあってこそと、重ねて感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

文化・芸術・スポーツの分野に力を入れていく、教育にあるさまざまなセクションと連携を強化して地域の中でもっと文化を花開かせていこうという区長の強い意向がございまして、来年度組織が変わりふるさと文化館も教育委員会から区長部局の施設となります。教育長といたしましては寂しい思いもしますが、ふるさと文化館が発展をしていくことを教育委員会としても力強く応援をして

まいりたいと思っております。今後も委員の皆様方にはどうかお力を貸していただけるよう心からお願いをいたしましてご挨拶とさせていただきます。

2 議事

座長 今回は任期中の最後の会となりますが、よりよい文化館の運営を目指して、委員の皆さん、忌憚なくご意見をお願いします。では、事務局から、今年度事業の報告をお願いします。

(1) 平成 23 年度事業について（平成 24 年 2 月 29 日現在）

事務局 まず、来館者数につきまして報告させていただきます。平成 24 年 2 月末の来館者数ですが、本年度につきましては 181,024 人、開館からの通算としましては、404,867 人のお客様をお迎えしております。リピーターが多いことと、館の周知が進んできたと考えているところです。

 ただいま教育長からお話ございましたが、先週 4 日まで開催しておりました、今年度第 2 回特別展「江戸の妖怪」展ですが、7,166 人の入場者がございます。一日あたり約 190 人ということで、ヒットした企画であったと考えております。ブログ等の評判もあり、近県からの来場者も多かったことを報告します。

 来年度予算についてです。総額で 134,616 千円、今年度当初予算に比べ 0.4% の増となります。講座等の事業委託が増額の主な要因となります。

 次に、前回ご意見いただきました件について報告させていただきます。

 一点目、壇一雄さんの生誕 100 年の展示につきましては、平成 24 年 11 月末から 12 月末頃まで練馬区文化振興協会主催で展示を行う予定でおります。

 二点目、加藤正世博士の展示についてですが、今後、東京大学総合研究博物館とも連携しながら、本格的な展示を検討してまいりたいと思います。

 三点目、お囃子の件ですが、具体化しておりません。現在、公民館で開催されている民俗芸能の公演や石泉地区の大会なども考慮して、効果的に行うには、例えばスポット的に行うなど、どうしたらよいかご意見を頂戴したいと思っております。

 四点目、音楽会についてです。6 月頃に元テレビ局のアナウンサー、小林大輔さんをお願いいたしまして、朗読と尺八のコラボのイベントを旧内田家住宅で開催することを検討しております。

 もう一点、石神井城につきましては、今年度は 10 月から 11 月に行われる東京文化財ウィークの期間に石神井城跡にパネルを設置し、館内においてもギャラリー展示を実施いたしました。

 なお、今年は 2 周年ということで、サポーターの方にも企画の段階から参加

していただき、来週 24 日から記念行事を行います。チラシを机上に配布させていただきますのでご覧ください。是非、ご来館いただければと思います。では、お手元の資料 1 については事前送付させていただきましたので、事務局よりご説明させていただきます。

(資料 1 の説明)

座長 ありがとうございます。ご質問がありましたらお願いします。

委員 二つほどお願いしたいことがあります。一つは先日新聞で拝見しましたが、国立博物館のミュージアムショップでの売り上げを全て館に戻そうという動きがあるようですが、ふるさと文化館ではそういうことをやらないでしょうか。もし、やるとしたら古い絵葉書をぜひコピーして売ってほしいとお願いしたいです。もう一つは、サポーターの方のミニ講演会についてですが、私も参加したことがあります、非常に充実していて面白かったです。もっと PR されたほうがよろしいのではないのでしょうか。

座長 これから区の体制が変わるので、整合性も考えながらと思いますが、事務局いかがでしょうか。

事務局 一点目のショップの関係ですが、開館当初は刊行物以外にもオリジナル商品を販売していくという方向で進めてまいりましたが、ここへ来て区全体の中で「ねり丸」グッズや観光にかかわるものを含めて扱うようになってきています。また、今回、特別展でいただいたアンケートの中で、特別展に関連するようなグッズもその期間中にあったほうが良いという意見をいただいております。今、古谷委員がおっしゃいましたように古い絵葉書といったようなものも可能であれば、検討させていただきたいと思います。二点目につきましては、現在常設展示の展示室で 20 分ほど解説する会と、会議室も使って 40 分から 1 時間程度解説を行う会と二種類ございます。これは館の職員とサポーターが行っております。実は館の活動として、サポーターに対しさまざまな勉強会を開催しておりますので、それから派生した中身をここで披露していくということでもあります。今のところホームページと館内のポスター掲示でご案内させていただいておりますが、広く周知して大勢のお客様に来ていただいているような体制が取れるかどうか検討しながら進めさせていただいております。

座長 もったいないので PR してほしいなと思います。

委員 資料 1 の説明で、ツイッターの話が出ましたが、今、ソーシャルメディアが想像以上に進み、スマートフォンの所持率も多くなっております。今後、PR の中でソーシャルメディアをどう使っていくかというのも重要ではないでしょうか。現在は紙媒体のポスターが重要になっていますけれど、アナログなところと最先端のソーシャルメディアとをうまくミックスして PR していくことで、いろいろな世代の方に周知できると思います。私たちもできることはお手伝

いさせていただきたいと思います。

委員 PRについてですけれども、館主催の場合はいろいろな場所にポスターが掲示されていますが、私たちが行う展示についても、一緒にPRしていただければと思います。今度、区長部局に変わるということで、区全体で文化・スポーツ・芸術に力を入れていくということであれば、ご一緒させていただきたいと思っております。よろしくをお願いします。

委員 いろいろ詳しくご説明いただきありがとうございます。23年度の事業の中に、受領資料一覧というのがありますが、美術館・博物館の施設として考えれば、寄贈資料以外に購入したものも含め1年間の収集資料の点数の公表も、収集活動として外に対する情報として重要な発信だと思っております。もう一つは、スタッフ数や、場合によってはどのような方が、どのような仕事をしているのか、あるいはサポーターの方が何人いらっしゃるのかという数字をお示ししていただくと、我々がよそのところに行って練馬の館はこんな活動をしていると説明するときにも大変頭に入れやすいことのでございますので、公表していただけるといいなと思います。

事務局 まず、ソーシャルメディアにつきましては、区役所全体としてのルールが決定したところで、ここの館の発信を進めていかななくてはと思っております。副島委員からのご指摘はまさしくその通りでございます。ここに今日、8ページに示したものについては、寄贈を受けた資料だけでございます。要覧を作り、そういう中で職員組織体制も含めて検討したいと思っております。次回の懇談会ではそういった資料も含めて出すように調整をさせていただきたいと思っております。

委員 3月17日に石神井中学校の演劇部がこちらで一緒に活動をさせていただくことになりました。この館はどちらかといえば小学生とのかかわりが多いですが、もう少し中学生が関われる館になればいいかなと思っております。

座長 ありがとうございます。全般的に23年度事業について、よくこれだけやったなと思います。副座長いかがでしょうか。

副座長 私も展示事業でよくがんばられたと思います。特別展「江戸時代百科事始」の小野蘭山についての展示は非常にすばらしく、日本でもかつてなかったくらいのレベルだろうと思います。今度の「江戸の妖怪」展もよかったと思います。催しも、落語家を呼んだりしてやっておられてよかったと思います。ただし、すべて喜んではいけないと私は思っています。小学生の男の子たちに妖怪展の話をしてしまったら、子供たちのいう妖怪とは水木しげるの話です。この館でなされたのは、「江戸中期、後期における日本の出版メディアが取り扱った妖怪の表現の仕方」というべきです。ただ、来ていた人たちを見ると失望している人はいないです。面白いなと思ってもらえたのでしょうか。非常によくなかったなと

思いました。次年度も今までの 2 年間の実績を踏まえてがんばってほしいと思います。

座長 それでは次に来年度の事業計画について説明ください。

(2) 平成 24 年度特別展等について

事務局 来年度事業についてです。お手元のニュースの四面をご覧ください。今年度と基本的に同様な展開をしております。この他にゴールデンウィーク期間や夏休みには昔の衣装体験、昔の駄菓子屋さんのような商店再現など親子でお楽しみいただけるイベント、またNHK共催では「ボストン美術館 日本美術の至宝」に関連した講演会、また 5 月 27 日にはふるさと文化講座「牧野富太郎 植物分類学」ということで講座を行います。この他、来年度の特別展、収蔵品展、企画展示について説明をさせていただきたいと思います。

(資料 2 の説明)

また、常設展示の展示替えです。今年度は季節に応じた展示替えだけでなく、鉄道の開通とくらしの変化のコーナーの資料や練馬とアニメーションのポスター、セル画など 3、4 か月ごとに行いました。描かれた練馬のコーナーでは加藤正世博士、そして手塚治虫氏、和辻哲郎氏の紹介を行いました。さらに加藤家より水車寄贈を受け、今月中にコーナーの入れ替えを行うこととなっております。

座長 続いて 24 年度の予算の概要について説明をお願いいたします。

事務局 (資料 3 の説明)

座長 ありがとうございました。それではご質問やご意見をお願いいたします。

委員 「私鉄の開通と観光地」展についてですが、鉄道は開通の後も沿線住民の夢を乗せて走っています。その中で、特に観光にスポットを当てるといことですけれど、その前に、鉄道が開くことによって経済や暮らし、文化に大きな変化をもたらしたことも説明するといいいのではないかと思います。また、観光の中には、遊園地が独特なイメージとしてあるのではないのでしょうか。大正から昭和初め生まれの世代の方ですとかつて子供を連れて行った場所でしょうし、私のような年齢ですと子供のときに連れて行かれた、もっと若い方では今子供を連れて行く場所です。遊園地というキーワードを入れていただくともっと夢が広がると思います。

「アニメ化 50 周年記念 鉄腕アトム」展につきましては、鉄腕アトムというのは本当に世界的なヒーローですけども、アニメと漫画というのを別々に考えていくのか、アニメだけに特化してやっていくのかということがございます。

「刀装具ー中山コレクションー」展は武器というものをわかりやすく説明したり、あるいは掲示したりすることが、はじめてご覧になる方には必要ではな

いかと思います。また、武器の展覧会を行うのは、かつては緊張感をもつものでした。恐いものを展示するのだということを頭に入れていただければと思います。

委員 以前から申し上げておりましたが、鉄腕アトムになると主題歌が前面に出てきます。作曲者・高井達雄さんは練馬区在住ですのでぜひ展示に活かしていただければと思います。また、数年前に「虫プロOBたちによる感謝展」が豊島区で行われ、色紙などが展示されていました。こういったものも利用していただけたらと思います。それからもう一点、事務局から先ほどお話しいただいた加藤正世博士に関する展示を是非やってほしいと思います。先日コレクションを拝見しましたが、すばらしいきれいなものでした。ぜひ当館でも展示してほしいと思います。

委員 講座等事業委託を行うということですが、館らしさを失わず、我々の意見も反映できるような方々をお願いしていただければと思っております。

委員 妖怪展のアンケート調査を行ったことによって練馬区以外の方々にもおいでいただいたことが分かったので、よかったと思います。ぜひ24年度もアンケートを行っていただければと思います。

委員 個人的なことで申し訳ないですが、私は日曜日に仕事を持っているので、講座に参加できなくて残念でした。1回くらいは違う曜日に行っていただければと思います。小野蘭山展や妖怪展は小さな博物館でもこういうことができるのだということを感じ、とてもよかったと思います。

委員 「私鉄の開通と観光地」展は関連展示が常設にもありますので、前からやってほしいと思っておりました。可能かどうかということがありますが、一つのテーマとして、西武沿線にはたくさん撮影所があり、また西武線と遊園地、豊島園の存在ですね。もう一つは、観光果樹園というものがございます。現在でも練馬区にはブルーベリー観光農園があり、今でもつながっているものですのでちょっと考えてもいいかなと思っております。またこれをやるにあたって、ぜひ考えてほしいのは、グッズの開発ですね。当館のノベルティの飛躍させるきっかけになると思います。

次はアトム展についてですが、気をつけなければいけないと思うのは、競合するところがたくさんあるのではということです。ご存知のとおり場所というと高田馬場、杉並、埼玉県新座市にもスタジオがあり、そして宝塚市立手塚治虫記念館がございます。パテントの問題があるので大変ですが、ぜひがんばってふるさと文化館らしいものになるといいなと思っております。そしてこちらミュージアムグッズを、著作権の問題があるので大変ですが、アイデアを出していただきたいです。それから、中山コレクションというのは、刀道具がどういうふうになってどういうふう発展していったのか説明するパ

ネルなどがなくよく理解できないのではないかと思います。

委員 大泉に活弁をやる青年がいて、武蔵野鉄道の記録映画を持っているらしいです。それを上映できればいいですね。

座長 関心を持っている方はたくさんいらっしゃると思います。いずれも人気の出そうな内容ですので、ぜひがんばってください。他になければ、事務局からお願いします。

事務局 いろいろご意見いただきましてありがとうございます。来年度につきましては有料特別展が二つ、収蔵品の企画展が二つということで考えてございます。特に鉄道につきましては切り口がたくさんありますが、今回は観光という側面で見たいということ。いただいたいろいろな意見を参考にさせていただき、いわゆる鉄道開通そのものをやるのか、そのほか遊園地という一つの響きの言葉というものをどのように使っていくのか、全部を取り扱うのは難しいと思っておりますが、その中でも観光と絡んだ中でどこに焦点を当てるかということ、これから担当学芸員と考えていきますのでよろしくをお願いします。

また、事業の委託につきましては、来年度は今年度交流業務を委託した会社が引き続き受託しました。いろいろなご意見も含めまして、活かせるところは活かしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいいたします。

座長 それでは、時間も迫ってきました。部長もご出席いただいておりますので、最後のお言葉をいただいて、本日は終わりとしたいと思います。

生涯学習部長 開館以来大変好評をいただいて、二年目の来館者もそれほど落ち込むことなく、たくさんの方に来ていただいております。やはり良質な企画をやれば人が来るということが証明されたと思っております。この懇談会におきましても皆様から大変貴重なご意見をいただいております、そのことも来館者数につながっていくと思っております。座長以下、各委員の皆様方には改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、4月から組織が変わりまして区民生活事業本部地域文化部に所属する形になります。文化事業政策の中核になり、より一層活躍していかなければいけないと思っております。PRについても課題としてあるように、いかにいい企画をやろうとも皆様に見ていただかなければ意味がありませんので、より多くの方に見ていただけるよう、機会を増やしてまいりたいと思っております。

懇談会につきましては、各委員の皆様は任期がおしまいということでございますが、来年度以降につきましては、4月以降改めまして手続きを進めてまいりたいと思っております。その際にはまたご協力のほどよろしくお願い申しまして最後のご挨拶にいたします。どうもありがとうございました。

事務局 約2年間、本当にありがとうございました。ご意見を参考に来年度も職員、サポーター一丸でがんばってまいりますので、応援よろしくをお願いします。

平成23年度事業について

(平成24年2月29日現在)

- 1 展示事業実績
- 2 教育普及事業実績
- 3 学校関連事業実績
- 4 ミュージアムショップ売上
- 5 受領資料一覧
- 6 施設貸出し状況

1 展示事業実績

平成24年2月29日現在

<企画展示室>

区分	行事名	期間	入場者数
主催	收藏品企画展 「『江戸名所図会』に描かれた風景」	4月29日～ 6月5日	936
主催	收藏品企画展 「アニメのセル画」展	7月16日～ 8月7日	627
主催	特別展 「江戸時代の百科事始一本草学者小野蘭山の世界」展 【有料展】	9月17日～ 11月6日	2,161
主催	特別展 「江戸の妖怪」展 【有料展】	1月21日～ 3月4日	5,598

区分	行事名	利用団体	期間 (貸出期間)	入場者数
貸出	石神町会婦人部 第18回文化展	石神町会	4月19日～ 24日	305
貸出	年金者組合練馬支部創立20周年記念 おらが祭り作品展	年金者組合練馬支部	7月7日～ 10日	382
貸出	第61回はたらく消防の写生会	石神井消防署	8月12日～ 23日	839
貸出	石神井公園・三宝寺池の四季を描く個展	(個人)	9月1日～ 7日	742
共催	第56回区民文化祭 第15回手工芸作家展	練馬公民館	11月17日～ 24日	3,453
共催	企画展「武蔵野台地の縄文遺跡」	生涯学習課文化財係	11月25日～ 12月28日	1,763
貸出	未来をのぞく住宅展	平野建設(株)	1月7日～ 9日	177

<ギャラリー>

区分	行事名	期間
主催	ギャラリー企画展 「練馬の風景 いまむかし」写真展	(2月3日～) 4月1日～8日
主催	ギャラリー企画展 「ホテルー生命の輝きー」写真展	6月14日～ 7月23日
主催	ギャラリー企画展 「昔写真展」ー水のある風景ー	8月27日～ 9月11日
主催	ギャラリー企画展 「石神井城跡の発掘と中世城郭」	11月2日～ 12月1日
主催	ギャラリー企画展 「昔写真展」ー農の四季ー	2月18日～ 3月11日

区分	行事名	利用団体	期間 (貸出期間)
貸出	照姫まつり写真パネル展	照姫まつり実行委員会	4月12日～ 5月22日
貸出	2011年 誰でも描ける植物画展	石神井植物を描く会	5月24日～ 6月5日
貸出	練馬区伝統工芸パネル展	経済課産業計画係	9月13日～ 10月4日
貸出	にゃんこ展	(個人)	10月5日～ 18日
貸出	石神井公園ベストショット写真展～しぜんからのおくりもの	石神井小学校	10月19日～ 22日
貸出	udon fantasista(うどんファンタジスタ)2011	udon fantasista事務局	10月23日～ 30日
貸出	伝統工芸体験講座「練伝まなび塾」作品展示	経済課産業計画係	1月17日～ 27日
貸出	練馬みどりの俳句大賞 入選作品展示	みどり推進課	2月3日～ 17日

2 教育普及事業実績

平成24年2月29日現在

(1) 特別展・企画展関連

事業名	講師	実施日	募集人数	申込数	受講数
収蔵品企画展 『江戸名所図会』に描かれた風景関連講演会 『江戸名所図会』の楽しみ方	渡邊嘉之(当館職員)	5月8日	100	110	92
特別展 「江戸時代の百科事始—本草学者小野蘭山の世界—」展関連講演会 「小野蘭山の本草学—実地調査と各地の門人たちからの情報—」	明治大学教授／平野満	9月25日	100	85	71
特別展 「江戸の妖怪」展関連講演会 「江戸の妖怪」	武蔵大学教授／アダム・カバット	1月29日	100	110	92
特別展 「江戸の妖怪」展関連イベント 「落語」(妖怪斬)	社団法人落語協会所属／柳家ほたる	2月19日	100	110	90

(2) ふるさと文化講座

事業名	講師	実施日	募集人数	申込数	受講数
連続講座 「古代武蔵国と東山道」	国分寺市学芸員／小野本敦	5月29日	50	62	50
		6月5日	50	62	45
アニメの原理体験講座	アニメーション監督／有原誠治 アニメ研究家／村松錦三郎	7月24日	当日 受付	—	40
伝統工芸体験～技にふれてみよう～	練馬区伝統工芸士／遠藤晏弘 遠藤英博	8月7日	20	21	20
武蔵野の地形と湧水	東京学芸大学教授／小泉武栄	10月2日	100	110	98
食卓で育む心と食文化	食育研究家／船ヶ山清史 漫画家／魚戸おさむ	10月29日	100	48	48
古民家に学ぶ生活の知恵	法政大学講師／古川修文	11月13日	100	69	51
リードオルガンの音色を聞こう	柴宮智子	12月18日	当日 受付	—	130
平清盛・源頼朝と豊島氏	駒澤大学講師／今野慶信	1月8日	100	110	99

(3) 季節体験事業

事業名	実施日
端午の節句	4月13日～5月11日
七夕	6月25日～7月7日
十五夜	9月2日～9月11日
年末年始行事（正月飾り、まゆ玉祭り）	12月27日～1月15日
節分	2月3日
ひなまつり	2月16日～3月3日

(4) ふれあい土曜事業

毎週土曜日開催

3頁参照

月	行事名	材料費(円)	実施日	参加者数
4	でんでんだいこをつくろう	450	4月2日	20
	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	—	4月9日	7
	いろり端で聞く昔ばなし	—	4月16日	24
	竹とんぼであそぼう	130	4月23日	7
	兜を折ろう	100	4月30日	27
5	なわとびであそぼう (雨天により「旧内田家にてるてる坊主を飾ろう」)	—	5月7日	11
	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	—	5月14日	5
	いろり端で楽しむかみしばい	—	5月21日	21
	かざぐるまをつくろう	170	5月28日	25
6	和紙ぞめ体験	220	6月4日	19
	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	—	6月11日	6
	いろり端で聞く昔ばなし	—	6月18日	37
	ちがや馬をつくろう (委託)	—	6月25日	17
7	七夕飾りをつくろう	—	7月2日	35
	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	—	7月9日	9
	いろり端で楽しむかみしばい	—	7月16日	61
	うちわをつくろう	70	7月23日	30
	プラネタリウムをつくろう	—	7月30日	60
8	縄文土器を作ろう	280	8月6日	35
	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	—	8月13日	7
	いろり端で聞く昔ばなし	—	8月20日	44
	空気砲をつくろう	—	8月27日	21
9	万華鏡をつくろう	190	9月3日	28
	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	—	9月10日	11
	いろり端で楽しむかみしばい	—	9月17日	48
	火おこし体験	—	9月24日	43
10	勾玉をつくろう	270	10月1日	12
	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	—	10月8日	9
	いろり端で聞く昔ばなし	—	10月15日	13
	こま犬をつくろう	250	10月22日	11
	竹とんぼであそぼう	130	10月29日	30
11	切り紙であそぼう	—	11月5日	26
	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	—	11月12日	6
	いろり端で楽しむかみしばい	—	11月19日	9
	消しゴム版画をつくろう	100	11月26日	33
12	タイル画をつくろう	100	12月3日	21
	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	—	12月10日	5
	なわとびであそぼう	—	12月17日	18
	小さなしめ飾りをつくろう	—	12月24日	20
1	まゆ玉飾りをつくろう	—	1月7日	32
	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	—	1月14日	11
	だるまちょきんばこをつくろう	270	1月21日	16
	節分の豆入れをつくろう	—	1月28日	32
2	プラネタリウムをつくろう	—	2月4日	40
	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	—	2月11日	45
	紙飛行機であそぼう	—	2月18日	29
	昔あそびを楽しもう	—	2月25日	30

(5) その他事業

① ゴールデンウィークイベント

事業名	実施日	募集人数	参加者数
古民家で昔遊びをしよう	4月29日～5月5日	当日受付	—
昔の道具を使ってみよう	4月29日～5月5日	当日受付	242
昔の商店再現「池淵玩具店開店」	4月29日～5月5日	当日受付	254
昔の衣装を着てみよう	4月29日	当日受付	25
	5月3日	当日受付	34
こいのぼりのカードをつくろう	5月1日	当日受付	18
切り紙で花をつくろう	5月4日	当日受付	23
シャボン玉であそぼう	5月5日	当日受付	50

② 国際博物館の日

事業名	実施日	募集人数	参加者数
「国際博物館の日」記念 (来館者にオリジナル絵葉書を配布)	5月18日	当日受付	36

③ ホタルの夕べ

事業名	講師	実施日	見学者
「ホタルの夕べ」	ホタル研究家 名児耶徳秀	6月17日～18日	650

④ 夏休みイベント

事業名	実施日	募集人数	参加者数
シャボン玉であそぼう	8月14日	当日受付	18
土器の拓本体験	8月18日	当日受付	30
ワイヤーアート工作	8月21日	当日受付	41
昔の商店再現「池淵玩具店開店」	7月23日～8月21日の土日	当日受付	322

⑤NHK文化講座

事業名	実施日	募集人数	申し込み数	参加者数
「空海と密教美術展」	8月31日	280	1,512	280

⑥文化財ウィーク事業

事業名	実施日	募集人数	申し込み数	参加者数
石神井城跡発掘パネル展	10月29日～11月6日	当日受付	—	—
古民家合同解説会(練馬区・板橋区) 「台地の古民家—近世・近代の比較—」	11月6日	30	44	24

⑦ふるさと探訪

事業名	実施日	募集人数	申し込み数	参加者数
ふるさと探訪 (練馬高野台駅～石神井公園コース)	5月29日 (3月19日実施予定だった事業。 臨時休館のため延期して実施)	50	46	23
ふるさと探訪 西コース (旧関村の水辺をたどる)	10月16日	40	28	26
ふるさと探訪 東コース (錦秋の石神井川沿いを歩く)	10月30日	40	39	30

⑧ふるさと文化館のお正月

【実施日】平成24年1月4日～9日

【内容】ふくわらいやかると遊びなどお正月遊びを楽しむ企画や抹茶サービスなどを実施。

実施日	内容	募集人数	参加者数	参加費
平成24年1月4日	かるたあそび	当日受付	17	—
1月5日	巨大ふくわらい	当日受付	29	—
1月6日～7日	昔の衣装体験	当日受付	87	—
1月7日	まゆ玉飾りをつくろう (ふれあい土曜事業)	当日受付	32	—
1月8日	お正月あそび	当日受付	52	—
1月9日	貝飾りをつくろう	当日受付	20	—
1月9日	お正月抹茶サービス	当日受付	100	100円

3 学校関連事業実績

平成24年2月29日現在

(1) 小・中学校団体見学

小学校	73件	児童数	5,674人	引率者	313人
中学校	11件	生徒数	731人	引率者	161人

(2) 職場体験

実施日	事前訪問日程	学校名	生徒数
6月30日(木)～7月1日(金) 8:30～15:00	6月16日(木) 14:30～15:00	石神井西中学校・2年生	4
7月6日(水)～7月7日(木) 8:30～15:00	6月28日(火) 16:00～16:30	石神井中学校・2年生	5
7月13日(水)～7月14日(木) 8:30～15:00	6月29日(水) 16:00～16:30	関中学校・2年生	4
7月21日(木)～7月22日(金)・26日(日) 8:30～15:00	7月6日(水) 15:30～16:00	石神井中学校特別支援学級・ 3年生	1
8月2日(火)～3日(水) 8:30～15:00	—	都立大泉附属中学校・2年生	5
11月10日(木)～11月11日(金) 8:30～15:00	11月4日(金) 15:00～15:30	大泉第二中学校・2年生	4
2月10日(金) 8:30～15:00	1月24日(金) 15:00～15:30	大泉学園中学校・1年生	4

(3) 講師派遣

実施日	学校名	人数	内容	派遣講師
4月6日(水) 13:30～14:30	石神井小学校	教諭 35名	学校内研究会 「ふるさと文化館概要」	当館職員
6月8日(水) 9:00～9:30	石神井小学校	6年生 92名	石神井城について	当館職員
8月3日(水) 14:00～17:30	練馬区中学校社会科部	中学校教諭 20名	練馬区の地域学習 (光が丘から豊島園まで巡検)	当館職員

(4) 幼稚園・保育園の団体利用

幼稚園・保育園 14園 来館者数 459人

(5) 学芸員実習

実施日	大学名	人数
9月14日(水)～9月25日(日) 8:30～17:00	昭和女子大学	1
	筑波大学	1

(6) 社会教育実習生（生涯学習施設実習生）受け入れ

実施日	大学名	人数
8月14日(日) 8:30～17:00	立教大学	1

(7) インターン（就業体験）生受け入れ

実施日	大学名	人数
8月25日(木) 8:30～17:00	中央大学	1

4 ミュージアムショップ売上

平成24年2月29日現在

(1) 刊行物(「新版 練馬大根」など37種)	131,340 円	482 点
(2) 遺跡等報告書(「溜淵遺跡」など22種)	41,800 円	8 点
(3) オリジナルグッズ(「ぬりえハガキ」など8種)	100,790 円	1,949 点
(4) 石神井公園ふるさと文化館刊行物 (「江戸の妖怪展」など7種)	1,238,260 円	1,939 点
(5) 昔の玩具(「勾玉作りキット」など19種)	165,690 円	786 点
(6) 石神井公園等関連グッズ (「石神井公園の風景絵はがき」など11種)	306,011 円	845 点
(7) 池淵玩具店 (常設展示室にて昔の商店を再現。「池淵銀行券」を販売)	57,600 円	576 点
(8) 「ねり丸」グッズ(「『ねり丸』クリアファイル」など2種)	11,300 円	81 点
	合計 2,052,791 円	6,666 点

5 受領資料一覧

平成24年2月29日現在

受領日	品物
平成23年4月20日	テレビアニメの台本
平成23年4月27日	雛人形、前掛、バケツ、ソノシート
平成23年4月27日	五月人形、夫婦人形
平成23年6月21日	破魔矢、肥びしゃく、唐鍬、三本鍬
平成23年6月24日	パン焼き器、弁当箱
平成23年8月12日	刀装小道具・関連書籍（和本類）
平成23年9月2日	下石神井村絵図
平成23年12月1日	唐箕
平成24年1月25日	水車
平成24年2月17日	上皿自動秤

6 施設貸出し状況

平成24年2月29日現在

(1) 会議室貸出し状況

	多目的会議室	会議室1	会議室2	計
件数	152	141	56	349
利用人数	4,147	1,951	960	7,058

(2) 企画展示室等貸出し状況

	企画展示室	ギャラリー	展示用ボックス
日数 (展示用ボックスは延月数)	65	117	222
人数(観覧者数)	7,661		

平成 24 年度特別展等について

平成 24 年度第 1 回特別展 開催要項案

「私鉄の開通と観光地」展（仮題）

1 趣旨

平成 24（2012）年は、武蔵野鉄道（現西武池袋線）が創立されてから 100 年目の節目の年にあたり、鉄道の開通を観光の面から考える特別展を実施する。

鉄道の開通により、農村であった沿線の風景は一変した。私鉄各社は、観光施設を設置、周遊コースを整備するなど観光開発に積極的に取り組み、私鉄沿線には観光地が誕生した。武蔵野鉄道（現西武池袋線）、西武鉄道（現西武新宿線）、東武東上線沿線にも遊園地、自然公園、ハイキングコース、スポーツ施設など、多くの人を訪れる観光地が誕生した。また、第二次大戦後は、ヘッドマークをつけた観光用列車が登場した。特に、西武池袋線では、昭和 44（1969）年の秩父への路線延長に伴い、観光用の特急車両を製作した。

今回の展示では、豊島園、兎月園、石神井公園などの練馬区内の観光地ばかりでなく、3 線（西武池袋線・新宿線、東武東上線）の沿線の区外の観光地や多くの客を観光地へ誘った観光列車などさまざまな資料から紹介し、近郊農村から大都市へと発展した練馬区の変遷を「観光」の視点から考える機会とする。

2 会 期 平成 24 年 9 月 22 日（土）～11 月 11 日（日）（44 日間）

3 主 催 石神井公園ふるさと文化館

4 内 容 西武鉄道所蔵の観光ポスター・レッドアローのヘッドマーク、東武博物館所蔵の沿線観光パンフレット・特急号のヘッドマーク、館蔵石神井公園水泳場関係文書など鉄道および観光関係資料を展示する予定。

5 観覧料 有料（一般 300 円）

6 刊行物 図録を作成する

7 会期中のイベント

講演会、ギャラリートークなどを予定

8 観覧者見込 3,000 人（1 日平均約 68 人）

9 担 当 学芸員 渡邊嘉之

10 その他 西武鉄道に協力を要請する予定。

平成 24 年度第 2 回特別展 開催要項案

「アニメ化 50 周年記念 鉄腕アトム」展 (仮題)

1 趣旨

平成 25 (2013) 年は、国産初の 30 分テレビシリーズアニメ「鉄腕アトム」が、練馬区で生まれてから、50 年目にあたる。この年を記念して、「鉄腕アトム」に関連した特別展を開催する。

「鉄腕アトム」の作者・手塚治虫は、昭和 36 (1961) 年、練馬区にアニメーションスタジオ「虫プロダクション(発足当時は、手塚治虫プロダクション動画部)」を設立し、アニメーション制作に着手した。手塚は雑誌に連載中だった「鉄腕アトム」を原作に、国産初の 30 分連続テレビアニメの放送に成功した。

本展示では、この「鉄腕アトム」の原作マンガの直筆原稿から、1963 年に放送された「鉄腕アトム」のセル画など数々のアニメーション資料を展示し、不可能を可能にした手塚治虫のアニメ制作手法を紹介する。また、日本アニメ発祥の地である練馬区について、関心を深めていただく機会とする。

2 会 期 平成 25 年 1 月 26 日 (土) ～3 月 17 日 (日) (44 日)

※手塚プロダクションと調整中

3 主 催 石神井公園ふるさと文化館

4 内 容 手塚プロダクション所蔵「鉄腕アトム直筆原稿(マンガ)」、手塚プロダクション所蔵「鉄腕アトム」アニメーション資料など鉄腕アトム関係資料を中心に展示予定

5 観覧料 有料 (一般 300 円)

6 刊行物 図録を作成する

7 会期中のイベント

講演会、上映会、ワークショップなどを予定

8 観覧者見込 3,000 人 (1 日平均約 68 人)

9 担 当 郷土資料調査員 奥野友美

10 その他 手塚プロダクションに企画等を委託し、また、手塚プロダクション、虫プロダクションの協力を得る。

平成 24 年度 第 1 回 収蔵品企画展 開催要項案

「刀装具－中山コレクション－」展（仮題）

1 趣旨

平成 23 年 8 月に当館に寄贈された、南大泉六丁目在住の中山彬氏が、長年にわたり収集した日本刀の刀装具を中心としたコレクション約 120 点を紹介する。中山氏が集めた刀装具の中心は鐔や目貫約 88 点であり、江戸期の「鬼図鐔」など多彩な意匠が凝らされたものも多くある。今回の展示においては、中山コレクション全体を展示し、実用であった刀剣が江戸期になって次第に鑑賞にも用いられるようになったことを背景とし、刀装具も各分野の高度な技術を用いて、様々な意匠が施され、デザインも工夫されるようになったことがわかるように展示する。また、参考に当館収蔵品の日本刀 2 振も合わせて出品する。

2 会 期 平成 24 年 4 月 28 日（土）～6 月 3 日（日）（32 日間）

3 主 催 石神井公園ふるさと文化館

4 内 容 収蔵品刀装具（鐔・小柄・目貫・縁頭・筭・小刀）などの展示

5 観覧料 無料

6 刊行物 解説シートを作成する

7 会期中のイベント

ギャラリートークなどを予定

8 観覧者見込 1,100 人（1 日平均約 34 人、ただしリーフレット配布見込数）

9 担 当 郷土資料調査員 片野ゆうみ

平成 24 年度 第 2 回 収蔵品企画展 開催要項案

「絵図・地図」展（仮題）

1 趣旨

石神井公園ふるさと文化館で所蔵する絵図・地図を展示する。

江戸時代の練馬の村々の絵図や明治期以降の練馬区域の様子がわかる地図を展示する。
また、「武蔵国全図」「富士見十三州与地図」など江戸時代に江戸市中などで流布した地図についても展示する。

2 会 期 平成 24 年 7 月 7 日（土）～8 月 12 日（日）（32 日間）

3 主 催 石神井公園ふるさと文化館

4 内 容 寛政 4（1792）年「下練馬村絵図」、安政 3（1856）年「武蔵国全図」など絵図・地図を展示する。

5 観覧料 無料

6 刊行物 解説シートを作成する

7 会期中のイベント

ギャラリートークなどを予定

8 観覧者見込 1,100 人（1 日平均約 34 人、ただしリーフレット配布見込数）

9 担 当 郷土資料調査員 小宮佐知子

平成 24 年度予算の概要について

単位：千円

科目 \ 年度	24 年度	23 年度	増 減	増減率
総 額	134,616	134,061	555	0.4%
1 運営費 (旧：一般事務費)	15,201	15,907	△706	△4.4%
<ul style="list-style-type: none"> ● 郷土資料調査員（非常勤職員 4 名）経費 13,254 千円 など <p>各施設の科目表記を統一することとなり、「運営費」と変更。 前年比減のおもな理由：「散策マップ」印刷費の減（隔年発行であるため）</p>				
2 維持管理費	61,865	89,117	△27,252	△30.6%
<ul style="list-style-type: none"> ● 設備保守および清掃等委託料 34,080 千円 ● 光熱水費（電気・上下水道料） 16,712 千円 など <p>前年比減のおもな理由 ……</p> <p>① 交流業務委託経費の減（△18,000 千円）： 講座等業務（教育普及事業）とあわせたかたちでの委託契約としたため</p> <p>② 光熱水費の減（△6,071 千円）： 資料保存のための適切な措置を講じつつ、引き続き節電対応にあたるため</p>				
3 展示事業経費	20,577	25,576	△4,999	△19.5%
<ul style="list-style-type: none"> ● 展示制作等委託料（特別展等） 8,321 千円 ● 印刷費（特別展図録、刊行物等） 6,747 千円 など <p>前年比減のおもな理由 …… 展示制作等委託料の減（△3,224 千円）</p>				
4 教育普及経費	36,973	3,461	33,512	968.3%
<ul style="list-style-type: none"> ● 講座等事業委託料 35,990 千円 など <p>前年比増のおもな理由 …… 講座等事業委託料の増（35,990 千円） 24 年度より、ふれあい土曜事業をはじめとする教育普及にかかる各種主催事業運営を専門業者に委託する（密接不可分な交流業務とあわせて契約）</p>				

【 23・24 年度とも当初予算数値 】